

□ 要請番号 (JL11523B10)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ミクロネシア	I102 障害児・者支援		個別	交替 2代目	2年	・2024/2・2024/3・ 2025/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

チューク州政府教育局

2) 配属機関名（日本語）

アコイコイ小学校
NGO

3) 任地（チューク州ペニア） JICA事務所の所在地（ポンペイ州コロニア）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（飛行機+車で約2.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

幼児部(4~5歳)と小学校部(日本の小学校1年生~中学2年生)の児童生徒を対象に無償で教育を提供している。チューク州教育局から認可を受けたNPO法人で、チューク州の教育カリキュラムに沿った授業を実施している。全校生徒135名程度。コロナ禍前は国内外のボランティアを含め7名の教員がいたが現在は4名に減少し、校長の家族が授業を行っている。学校があるペニア地区の一人当たりの平均所得は1日1ドルを下回る貧困地区であり、教育水準、就職率ともに低く、教育強化による青少年の健全な育成を目指している。特に英語教育に力を入れているため、ミクロネシア地域唯一の進学校(ザビエル高校)への入学者も数名輩出している。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当校には、50名程度の特別支援教育が必要な児童生徒がいる。症状は、自閉症スペクトラム障害、難読症、弱視、難聴、注意欠陥障害など多岐にわたっている。自閉症以外の児童生徒については、医師による診断の機会がないので、現地の教員が子供たちとの関わりの中で判断している。特別支援教育の専門知識を持つ教員がいないため、隊員には児童生徒への指導と共に、現地教員に対する彼らとの関わり方の指導も求められている。学校では、インクルーシブ教育を取り入れているため、隊員はその中の活動がメインとなるが、特別支援クラスが必要と判断されれば、教室を別に設ける準備もある。特別支援教育が必要な生徒数が2倍以上に増えているにも係わらず、教員は減少したため支援が必要な状況になっている。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

1. 特別支援が必要な児童生徒約50名の授業中のサポートを行う。

(1クラス15名程度のクラス規模に4~5名の特別支援が必要と思われる児童生徒が含まれている)

2. 同僚教員と保護者へ対し、特別支援が必要な子供たちへの理解、接し方の方法をアドバイスする。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

PC、プリンター、プロジェクター、iPad、Kindle、教科書

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

校長: 30代 女性 経験10年 ソーシャルワーカー (学校設立者の娘)

教員:

学校設立者の60代の男性(校長の父親、米国人)
校長の30代の弟、30代の従兄弟

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

英語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：(特別支援学校教諭)
(小学校教諭)

[学歴]：() 備考：

[性別]：(男性) 備考：女性を対象とした住居等確保が困難

[経験]：(実務経験) 2年以上 備考：指導的な立場にな

[汎用経験]：

- ・障害者を対象とした活動経験
- ・特別支援学級での活動経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯雨林気候) 気温：(25~32°C位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可)

[水源]：(安定)

【特記事項】

ホームステイ(現地の一般家庭で寝食を共にしながら共同生活する)の可能性がある。現地語(チューク語)の研修を実施予定。

【類似職種】

・小学校教育

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。